

# 静岡県月例経済報告

(令和5年4月号)

……令和5年2月を中心とした県内経済のすがた……

No. 564

—静岡県経済産業部—

# 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	6
・ 需要面 .....	6
・ 生産面 .....	14
・ 雇用面 .....	16
・ その他 .....	19
III 静岡県主要産業の動向 .....	23
IV データからみた県内主要産業 .....	26

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL)

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/keizaisangyo/tokeishiryoku/getsureihoku/index.html>

# I 静岡県経済の概況

〔本稿は、令和5年2月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

## 概況

令和5年2月を中心とした静岡県の景気は、物価高騰等や供給制約の影響から、一部に弱さが見られるものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される中、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更が与える影響に配慮する必要があるほか、引き続き物価高騰、供給制約等が及ぼす影響に注意する必要がある。

雇用情勢は、総じて改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、増加している。
- ・ 生産は、弱い動きとなっている。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、緩やかに持ち直している」

大型小売店販売額(2月)は、スーパーが3か月ぶりに前年実績を下回ったものの、百貨店が2か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも3か月連続で前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(2月)は、ホームセンターが2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店が2か月ぶり、コンビニエンスストアが4か月連続、ドラッグストアが22か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも14か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(2月)は、乗用車、軽自動車がいずれも6か月連続で前年実績を上回ったため、総数でも6か月連続で前年実績を上回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(2月)は、貸家が4か月連続で前年実績を上回ったものの、持家、分譲住宅がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回ったため、総数でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を上回った」

公共工事請負金額(2月)は、6か月ぶりに前年実績を上回った。

### 「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(12月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）（計画）は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（2月）は、5か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「輸出は、増加している」

### 「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（2月）は、自動車の部分品が8か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が5か月連続、エアコン、科学光学機器がいずれも9か月連続、自動車が2か月連続、二輪自動車類が16か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも9か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（2月）は、木材が3か月連続、パルプが23か月ぶり、原動機が2か月連続、自動車の部分品が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品が11か月連続、紙類及び同製品が5か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも25か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、772億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、弱い動きとなっている」

鉱工業生産指数は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械が7か月連続、化学、食料品・たばこがいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械が3か月連続、輸送機械が9か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が4か月連続で前年水準を下回ったため、総合でも8か月ぶりに前年水準を下回った。また、前月比は2か月連続で減少した。

なお、鉱工業在庫指数は、総合では12か月ぶりに前年水準を下回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、総じて改善の動きが続いている」

有効求人倍率（2月）は1.27倍となり、前月を0.02ポイント下回った。全国値を0.07ポイント下回った。

雇用保険受給者実人員（2月）は、21か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（1月）は、14か月連続で前年実績を上回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高、信用保証金額はいずれも前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（2月）は、前年同月比 0.4%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（2月）は、前年同月比 27.7%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を上回った」

企業倒産（3月）は、件数は30件（前年同月比 87.5%増）、負債総額は3,669百万円（同 143.4%増）と、いずれも前年実績を上回った。

<トピックス>



HAMANAKO GARDEN PARK  
浜名湖ガーデンパーク

令和6年  
(2024年)

4/6 SAT ▶ 6/2 SUN 58日間

はままつ **フクフクパーク**

令和6年  
(2024年)

3/23 SAT ▶ 6/16 SUN 86日間



浜名湖花博2024  
LAKE HAMANA HANAHAKU2024

前売りチケット

**9月**販売開始



## <トピックス>

デジタル技術の習得や新たなビジネスへのチャレンジを目指す  
多様な人が集まるイノベーション拠点

# SHIP

SHIZUOKA INNOVATION PLATFORM



SHIP(シップ)は、県内のデジタル化やイノベーションの創出を目的として設置された交流の「場」です。ICT(情報通信技術)やDXの知識を習得したり、組織を越えた協業・共同研究、新規事業のきっかけとなる交流を支援します。

**デジタル技術やイノベーションに関わるセミナーや勉強会 相談・交流会を開催!!**

コミュニティマネージャーやコーディネーターへの相談はもちろん、交流・情報収集の場などにご利用ください。



静岡県内のDXやイノベーションに関心をお持ちの方であればどなたでも**会員登録**が可能です

会員登録無料

最新情報はこちら



<https://ship-shizuoka.jp>

備品などの貸出しも承ります

## SHIP SHIZUOKA INNOVATION PLATFORM

静岡県静岡市葵区呉服町2丁目7-26 静専ビル2F

営業時間 | 10:00~18:00

休館日 | 土曜・日曜・祝日(他、年末年始など)

駐車場 | お近くのコインパーキングをご利用ください。

駐輪場 | 青葉通り駐輪場 有料 静岡市葵区呉服町2丁目3-1 地先  
追手町駐輪場 有料 静岡市葵区追手町8-7 地先

TEL | **054-266-7776**

メールアドレス | [info@ship-shizuoka.jp](mailto:info@ship-shizuoka.jp)



# <トピックス> 業種別の経済・雇用情勢

## ① 県制度融資の申込状況

(令和5年4月20日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～4	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R5.3.31】	億円 873	件 5,790	建設業31.7%、卸小売業18.7%、製造業15.0%、飲食業7.9%、運輸業3.4%、宿泊・旅行業1.7%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R5.3.31】	億円 620	件 3,802	建設業25.7%、卸小売業21.3%、製造業20.3%、飲食業10.0%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業2.6%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R5.3.31】	億円 30	件 127	製造業41.7%、卸小売業27.6%、運輸業9.4%、建設業8.7%、飲食業3.1%、宿泊・旅行業3.1%等
R5	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R5.4.1～】	億円 3	件 33	建設業42.4%、卸小売業18.2%、製造業6.1%、飲食業6.1%、運輸業3.0%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R5.4.1～】	億円 40	件 220	製造業26.4%、卸小売業25.5%、建設業19.1%、飲食業6.8%、宿泊・旅行業0.5%、運輸業1.4%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R5.4.1～】	億円 1	件 1	その他100.0%
計		億円 11,965	件 71,797	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

## ② 県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R4年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月
農・林・ 漁・鉱業	▲16.7	66.1	26.4	6.8	46.3	5.6	21.5	11.1	▲34.0	5.1	9.8	▲19.9
建設業	4.7	4.8	12.7	2.4	▲2.0	3.9	▲0.3	▲2.9	▲3.1	▲14.0	▲8.6	▲0.5
製造業	16.6	19.7	22.8	8.1	10.7	10.6	3.1	▲2.0	▲3.4	▲7.2	▲16.4	▲18.1
卸売・小売業	19.2	21.3	50.1	16.7	28.2	46.6	9.9	12.9	29.7	▲2.1	9.3	19.9
金融、保険 不動産業	5.9	8.5	34.5	15.1	▲4.0	31.5	17.0	7.7	14.5	▲9.1	11.1	6.3
運輸業	28.2	13.3	3.7	19.3	▲0.5	13.2	0.8	6.8	▲12.9	▲10.7	▲17.3	▲8.7
情報通信業	38.2	▲14.6	1.5	▲4.3	▲2.2	▲5.4	9.0	11.0	1.1	▲12.4	15.5	▲22.0
飲食、宿泊 サービス業他	23.1	18.9	22.7	8.3	29.4	16.9	11.5	19.1	8.3	4.0	7.0	5.0
県全体	15.3	16.2	14.7	9.2	13.9	14.3	5.6	5.5	3.2	▲1.8	▲1.4	▲1.5

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡県労働局))

## ③ 県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R4年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年 1月	2月	3月
農・林・ 漁・鉱業	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1
建設業	2	2	3	0	1	3	6	3	1	1	4	5
製造業	3	7	4	1	2	3	4	4	6	4	6	4
卸売・小売業	5	3	4	1	1	3	6	1	4	4	4	8
金融、保険 不動産業	0	0	1	0	1	1	1	1	2	3	1	1
運輸業	0	2	0	0	1	0	1	1	1	3	2	0
情報通信業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1
飲食、宿泊 サービス業他	8	4	3	3	3	4	4	3	4	3	2	10
県全体	19	18	15	5	9	16	22	14	18	19	19	30
うちコロナ 関連倒産	6	4	2	2	6	8	5	2	5	8	3	11

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)

## II 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

2月 = 33,556百万円

\*前年同月比： 0.1%増

(県内3百貨店、154スーパー合計)

<概況>

2月の大型小売店販売額は33,556百万円で、前年同月比 0.1%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、スーパー(同 1.2%減)が3か月ぶりに下回ったものの、百貨店(前年同月比 7.9%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

商品別では、飲食料品(同 1.1%減)が5か月ぶり、家庭用品(同 10.8%減)が22か月連続で前年実績を下回ったものの、衣料品(同 8.5%増)が3か月連続、身の回り品(同 13.3%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.9%増と、8か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
販売額(百万円)	37,045	36,445	34,582	36,840	36,374	46,593	38,668	33,556
前年同月比(%)	0.2	1.6	0.7	0.7	▲0.7	2.6	2.7	0.1
うち百貨店(%)	2.7	18.0	12.4	▲0.6	▲3.6	▲2.2	2.6	7.9
スーパー(%)	▲0.2	▲0.4	▲1.0	0.9	▲0.1	3.7	2.7	▲1.2
(参考1)全国前年同月比(%)	2.8	3.8	4.1	4.1	2.4	3.6	5.3	4.7
うち百貨店(%)	9.4	25.4	19.9	10.9	4.3	4.0	14.8	20.3
スーパー(%)	0.5	▲1.4	▲0.5	1.7	1.6	3.5	2.2	▲0.0
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	0.5	2.1	2.9	2.8	0.8	3.0	3.2	0.9

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
衣料品	▲1.4	14.9	10.2	3.3	▲6.8	3.6	4.0	8.5
うち紳士服・洋品	1.2	12.8	10.8	8.0	▲5.2	12.4	13.5	14.5
婦人・子供服・洋品	▲1.4	17.6	11.1	1.8	▲6.9	0.6	2.2	8.1
身の回り品	0.5	14.9	14.8	6.5	▲0.2	▲2.1	7.5	13.3
飲食料品	0.2	▲0.4	▲1.2	0.6	1.1	3.6	3.1	▲1.1
家庭用品	▲7.4	▲2.9	▲3.5	▲3.2	▲3.9	▲7.9	▲6.8	▲10.8
うち家庭用電気機械器具	▲10.2	▲5.1	▲5.7	▲3.0	▲11.1	▲8.7	▲10.8	▲16.5

(注)店舗数調整済、全月速報値

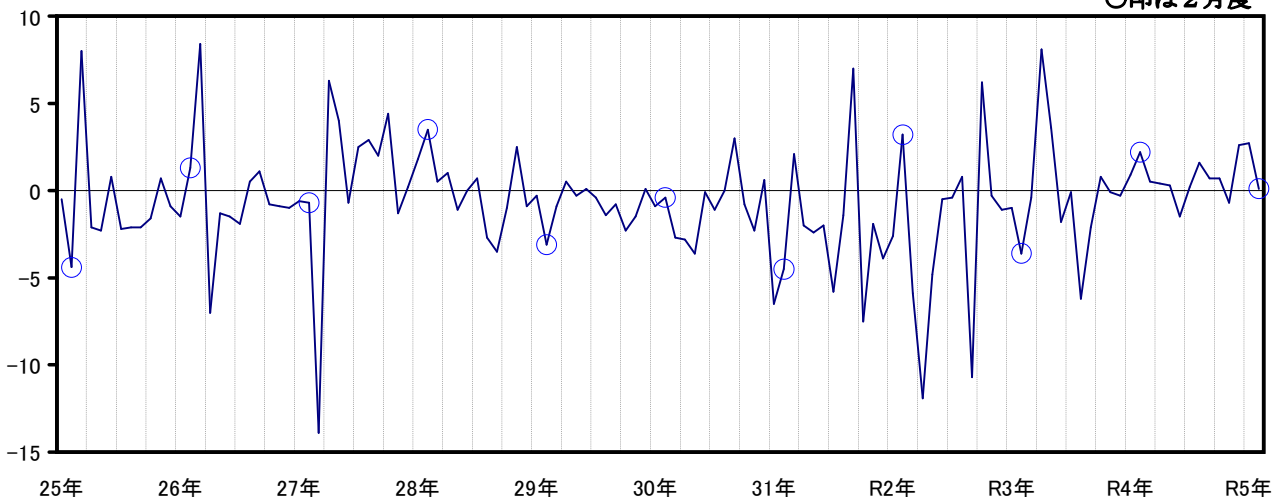
<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は2月度





## (2) 専門量販店等販売額

2月 = 68,228百万円

\*前年同月比：4.8%増

(県内92家電大型専門店、1,666コンビニエンスストア、582ドラッグストア、108ホームセンター合計)

### <概況>

2月の専門量販店等販売額は68,228百万円で、前年同月比4.8%増となり、14か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター(同0.7%減)が2か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店(前年同月比1.4%増)が2か月ぶり、コンビニエンスストア(同4.4%増)が4か月連続、ドラッグストア(同7.9%増)が22か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
販売額(百万円)	79,837	79,098	73,959	75,190	72,662	86,005	74,378	68,228
前年同月比(%)	3.3	4.6	4.2	3.3	3.8	6.2	2.8	4.8
うち 家電大型専門店(%)	▲2.5	▲3.5	6.4	6.6	1.2	7.6	▲1.2	1.4
コンビニエンスストア(%)	3.5	6.9	3.0	▲0.7	0.9	2.1	2.5	4.4
ドラッグストア(%)	7.1	6.5	6.9	7.7	10.2	10.9	6.5	7.9
ホームセンター(%)	▲2.1	▲0.9	▲2.3	1.2	▲3.2	4.0	▲3.0	▲0.7
(参考)全国前年同月比(%)	2.3	3.3	3.2	4.8	5.5	5.4	2.9	4.5

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

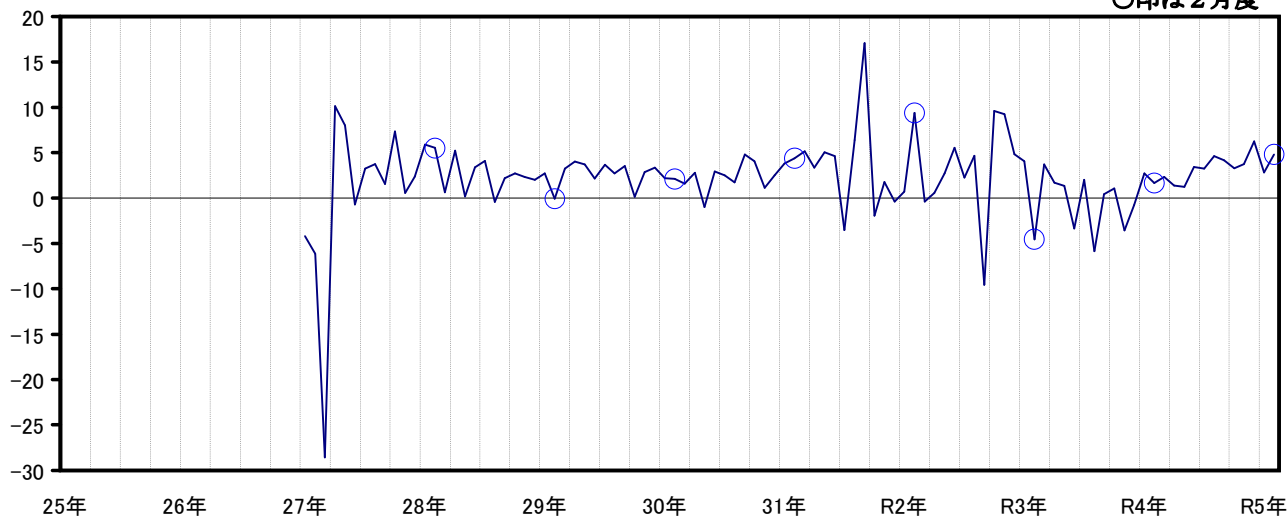
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は2月度



**(3) 自動車(新車)新規登録台数****2月 = 15,853 台**

\*前年同月比： 18.2%増

(乗用車、軽自動車合計)

## &lt;概況&gt;

2月の自動車(新車)新規登録台数は15,853台(前年同月比 18.2%増)と、6か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 25.8%増)、軽自動車(同 11.0%増)がいずれも6か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
登録台数(台)	11,924	9,874	13,178	12,984	14,026	13,441	14,319	15,853
前年同月比(%)	▲ 11.2	▲ 10.3	28.0	40.5	16.1	10.4	14.1	18.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 6.9	▲ 11.2	26.4	28.3	5.6	1.5	17.4	22.9

&lt;資料&gt;県税務課、日本自動車販売協会連合会

## &lt;車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移&gt;

(単位：%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
全乗用車	▲ 11.2	▲ 10.3	28.0	40.5	16.1	10.4	14.1	18.2
乗用車	▲ 15.7	▲ 12.8	28.2	30.5	4.9	3.4	7.6	25.8
軽自動車	▲ 6.0	▲ 7.4	27.8	52.3	29.5	18.7	21.1	11.0

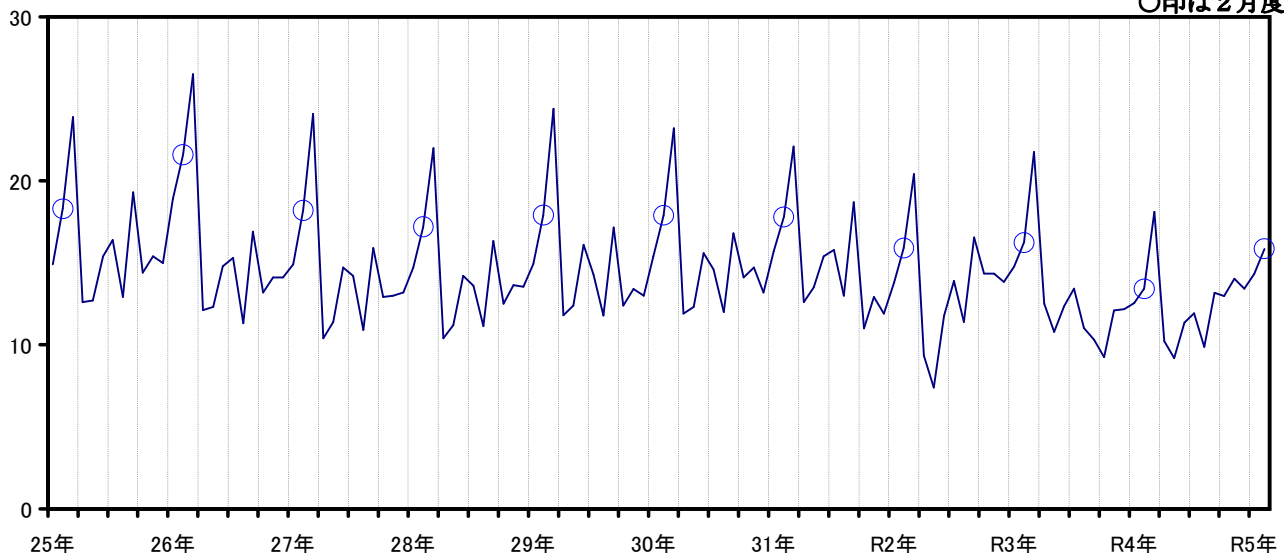
&lt;資料&gt;県税務課

## &lt;過去10年間の推移&gt;

自動車(新車)新規登録台数(千台)

&lt;資料&gt;県税務課

○印は2月度



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

2月 = 1,509 戸

\*前年同月比： 2.7%減

### <概況>

1月の新設住宅着工戸数は1,509戸で、前年同月比 2.7%減と、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、貸家（同 8.3%増）が4か月連続で前年実績を上回ったものの、持家（前年同月比 8.8%減）、分譲住宅（同 35.8%減）がいずれも2か月ぶりに前年実績を下回った。

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
戸数（戸）	1,852	1,730	1,566	1,641	1,685	1,678	1,553	1,509
前年同月比（%）	13.5	▲ 3.5	▲ 4.6	▲ 21.1	▲ 13.1	▲ 2.0	19.4	▲ 2.7
うち持家（%）	▲ 6.2	▲ 2.1	▲ 17.2	▲ 22.8	▲ 21.5	▲ 15.4	0.7	▲ 8.8
貸家（%）	92.0	▲ 10.0	25.1	▲ 22.9	14.4	30.8	26.2	8.3
分譲住宅（%）	▲ 12.8	3.0	▲ 2.5	▲ 17.8	▲ 9.4	▲ 9.5	69.0	▲ 35.8
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 5.4	4.6	1.0	▲ 1.8	▲ 1.4	▲ 1.7	6.6	▲ 0.3

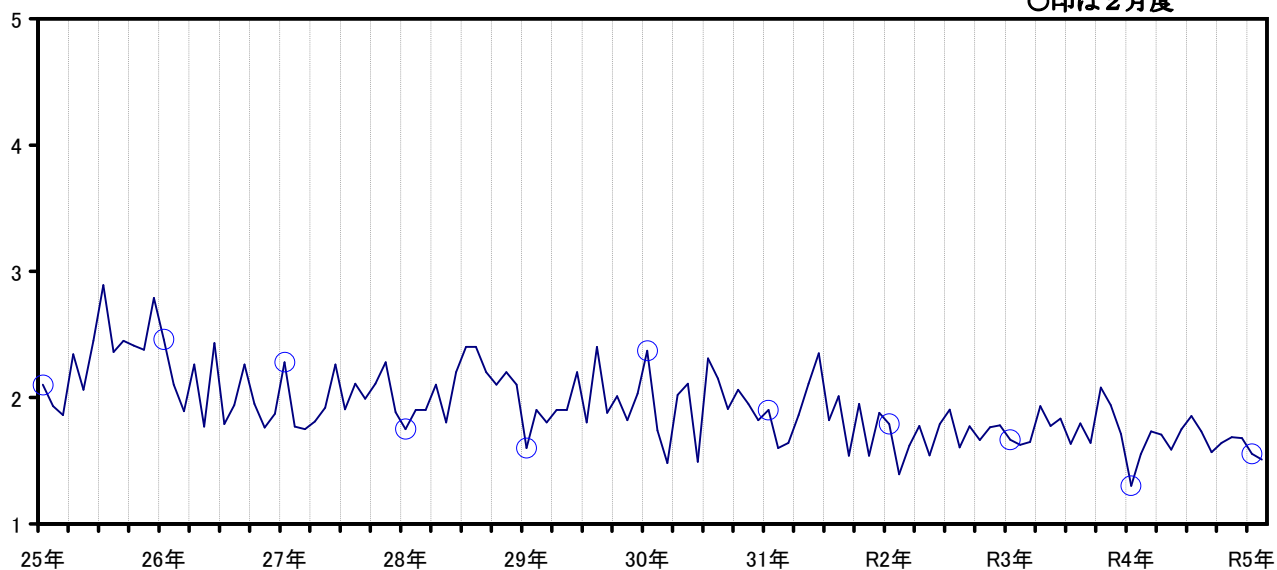
<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課

○印は2月度



### 3 公共工事請負金額

2月 = 19,256百万円

\*前年同月比：62.3%増

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

2月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は19,256百万円で、前年同月比62.3%増となり、6か月ぶりに前年実績を上回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は316件で、前年同月比52.7%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
金額（百万円）	30,400	36,867	36,131	24,862	12,862	12,675	10,855	19,256
前年同月比（%）	▲15.4	21.2	▲20.9	▲16.2	▲18.6	▲32.3	▲21.8	62.3
年度累計前年同月比（%）	▲16.0	▲10.5	▲12.4	▲12.8	▲13.1	▲14.2	▲14.6	▲11.9
件数（件）	730	807	1,044	703	518	421	301	316
前年同月比（%）	▲13.4	4.0	▲3.0	▲3.8	▲21.6	▲4.5	27.5	52.7
年度累計前年同月比（%）	▲12.4	▲9.0	▲7.6	▲7.1	▲8.7	▲8.4	▲7.2	▲5.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
国	▲51.4	▲21.4	▲34.4	115.5	▲42.9	28.4	▲17.1	9.1
独立行政法人等	▲8.6	312.4	▲94.9	63.4	▲41.6	▲59.8	▲31.8	618.7
県	▲23.3	12.2	1.4	6.9	▲7.3	▲18.6	75.2	36.6
市町	6.6	0.3	10.1	▲9.5	▲7.2	▲26.2	6.6	89.7
地方公社	206.6	118.2	▲46.3	▲6.8	-	▲75.0	5.1	-
その他	▲28.5	231.5	109.3	-	▲93.4	▲39.0	▲84.3	961.5

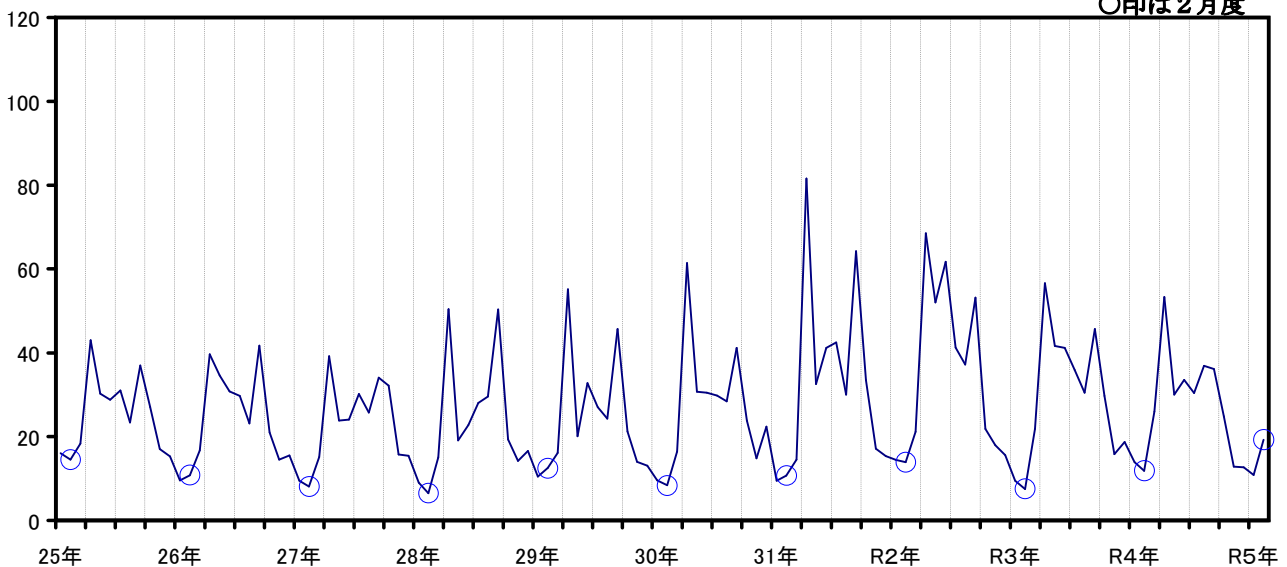
<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

○印は2月度





## 4 設備投資

### <概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 43.8%増）、非製造業（同 2.6%増）、全産業（同 23.7%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 25.7%増）、非製造業（同 4.3%増）、全産業（同 20.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

2月の着工建築物床面積（非居住用）は65,360㎡で、前年同月比 1.0%減となり、5か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比%） 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	▲1.4	(▲1.1) 23.7
	全国	▲0.8	(▲1.1) 15.1
製造業	県	8.8	(▲1.0) 43.8
	全国	1.1	(▲0.7) 20.3
非製造業	県	▲10.1	(▲1.3) 2.6
	全国	▲1.9	(▲1.4) 12.1

### （ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	1.9	(▲0.8) 20.2
	全国	1.2	(▲0.5) 14.3
製造業	県	6.0	(▲0.4) 25.7
	全国	2.9	(0.2) 15.6
非製造業	県	▲8.0	(▲2.2) 4.3
	全国	▲0.7	(▲1.3) 12.9

（注1）平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

（注2）平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年12月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年12月調査)」

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	245,468	85,171	78,834	172,555	144,806	166,101	118,993	65,360
前年同月比（%）	126.6	▲37.3	▲28.8	33.2	34.9	32.2	26.1	▲1.0
（参考）全国前年同月比（%）	22.0	27.0	▲3.1	▲32.4	▲6.0	▲28.6	20.4	▲3.8

（注3）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年9月	R4年12月	R5年3月 (予測)
全産業	全産業	▲5	▲2	2
	製造業	▲11	▲10	0
	非製造業	1	5	5
（参考）全国・全産業		3	6	1

（注4）業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年12月調査)」

## 5 輸出

2月 = 210,333百万円

\*前年同月比： 13.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

2月の清水税関支署管内の輸出総額は210,333百万円で、前年同月比 13.6%増となり、9か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 20.4%減）が8か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 40.6%増）が5か月連続、エアコン（同 123.2%増）、科学光学機器（同 38.9%増）がいずれも9か月連続、自動車（同 51.3%増）が2か月連続、二輪自動車類（同 23.6%増）が16か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 13.1%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 40.4%増）が9か月連続、EU向け（同 40.5%増）が6か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
輸出総額(百万円)	229,506	209,193	214,766	248,526	244,721	248,239	179,143	210,333
前年同月比(%)	6.5	8.9	1.0	28.7	27.1	25.2	13.4	13.6

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
原動機	45.5	69.1	▲4.7	93.4	52.9	77.0	27.3	40.6
エアコン	73.3	85.1	62.0	25.7	70.3	70.2	111.7	123.2
自動車	6.3	7.7	43.3	10.3	22.7	▲13.3	91.1	51.3
自動車の部分品	▲19.2	▲4.5	▲32.9	▲0.9	▲18.5	▲11.5	▲11.1	▲20.4
二輪自動車類	64.7	35.0	67.9	113.6	121.3	92.1	17.9	23.6
科学光学機器	0.1	40.6	33.5	29.2	24.4	18.1	2.3	38.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
アジア	▲5.7	0.1	▲5.0	22.3	5.4	▲2.6	▲5.4	▲13.1
米国	29.1	34.1	4.7	46.1	27.4	42.7	22.4	40.4
EU	20.0	▲3.3	15.1	28.6	79.7	64.6	33.4	40.5

<資料>清水税関支署

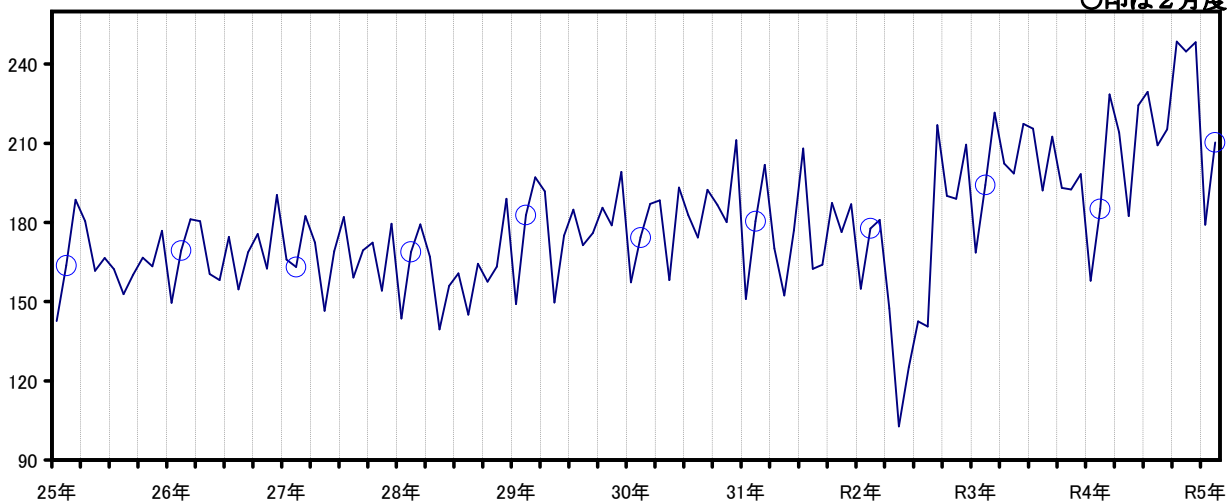
(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津)の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



## 6 輸入

2月 = 133,094百万円

\*前年同月比： 36.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

2月の清水税関支署管内の輸入総額は133,094百万円で、前年同月比 36.3%増となり、25か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、木材（前年同月比 49.1%減）が3か月連続、パルプ（同 1.5%減）が23か月ぶり、原動機（同 29.4%減）が2か月連続、自動車の部分品（同 6.8%減）が5か月ぶりに前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 3.6%増）が11か月連続、紙類及び同製品（同 15.7%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（同 3.4%増）が11か月連続、米国から（同 370.6%増）が10か月連続、EUから（同 3.9%増）が9か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
輸入総額(百万円)	120,210	128,131	132,849	141,939	139,957	148,260	136,468	133,094
前年同月比(%)	18.2	41.4	38.0	56.0	53.5	41.4	31.1	36.3

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
魚介類及び同調製品	24.7	27.2	41.9	63.8	64.0	17.1	41.4	3.6
木 材	29.9	43.5	▲ 26.7	15.0	35.4	▲ 40.6	▲ 14.3	▲ 49.1
パ ル プ	36.3	92.9	32.2	40.9	6.2	38.2	25.0	▲ 1.5
紙 類 及 び 同 製 品	43.2	5.0	▲ 16.3	61.6	42.3	30.0	9.4	15.7
原 動 機	21.1	63.1	12.4	54.1	10.1	11.0	▲ 58.1	▲ 29.4
自 動 車 の 部 分 品	▲ 8.5	▲ 20.1	▲ 0.9	33.5	27.7	10.1	24.6	▲ 6.8

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
ア ジ ア	21.4	36.6	60.6	52.0	44.9	24.3	55.1	3.4
米 国	31.9	20.5	26.5	29.2	33.9	266.4	39.8	370.6
E U	9.0	44.1	11.7	21.0	27.3	36.1	30.9	3.9

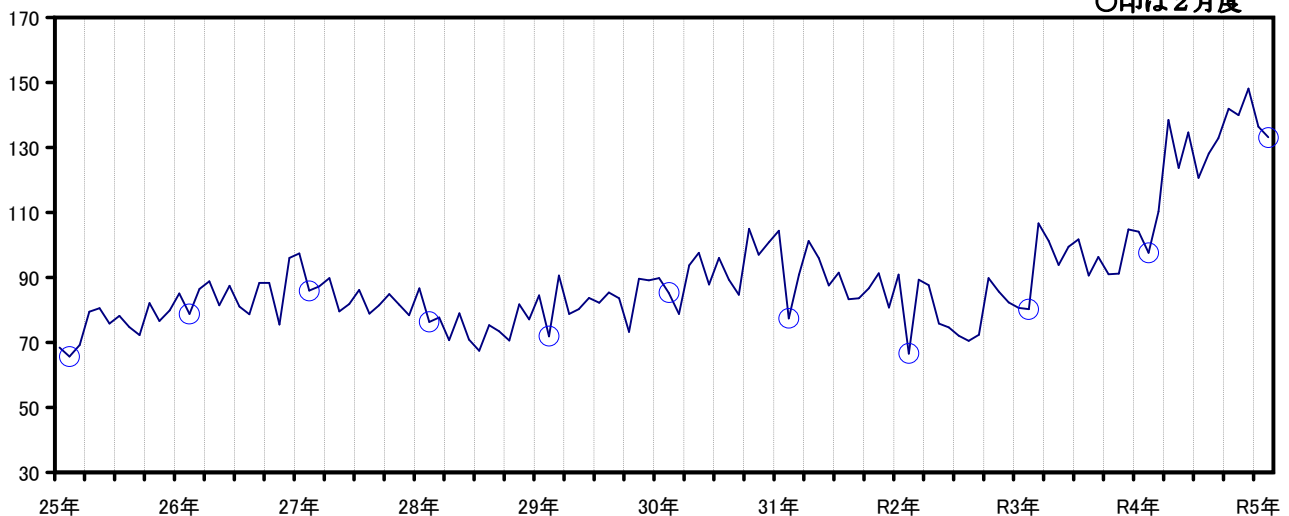
<資料>清水税関支署

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署

○印は2月度



# 生 産 面

## 1 生 産

### (1) 鉱工業生産指数

2 月 = 88.7

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 1.3%減

\*前年同月比(原指数) : 0.5%減

#### <概 況>

2月の鉱工業生産指数(総合)は88.7(季節調整済指数)で、前月比は1.3%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は0.5%減と、8か月ぶりに前年水準を下回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同10.9%増)が7か月連続、化学(同2.3%増)、食料品・たばこ(同1.6%増)がいずれも2か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(前年同月比9.1%減)が3か月連続、輸送機械(同3.7%減)が9か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同3.4%減)が4か月連続で前年水準を下回った。

#### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
指 数	92.6	96.6	96.3	93.9	92.1	92.5	89.9	88.7
前 月 比 (%)	▲ 0.8	4.3	▲ 0.3	▲ 2.5	▲ 1.9	0.4	▲ 2.8	▲ 1.3
前 年 同 月 比 (%)	2.8	11.1	17.5	8.9	4.5	5.2	6.4	▲ 0.5
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 2.0	5.8	9.6	▲ 3.2	0.2	0.3	▲ 5.3	4.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲ 5.4	18.8	2.3	11.5	19.5	27.6	4.0	10.9
電 気 機 械 工 業	14.0	11.8	22.2	3.5	0.4	▲ 4.6	▲ 14.4	▲ 9.1
輸 送 機 械 工 業	9.9	20.1	47.1	16.7	7.3	5.3	34.9	▲ 3.7
化 学 工 業	▲ 6.8	5.2	0.6	4.0	▲ 2.4	4.5	▲ 1.3	2.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 2.3	2.6	1.2	1.8	▲ 2.6	▲ 2.4	▲ 5.2	▲ 3.4
食料品・たばこ工業	1.2	3.8	8.5	5.5	3.5	1.0	▲ 3.5	1.6

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

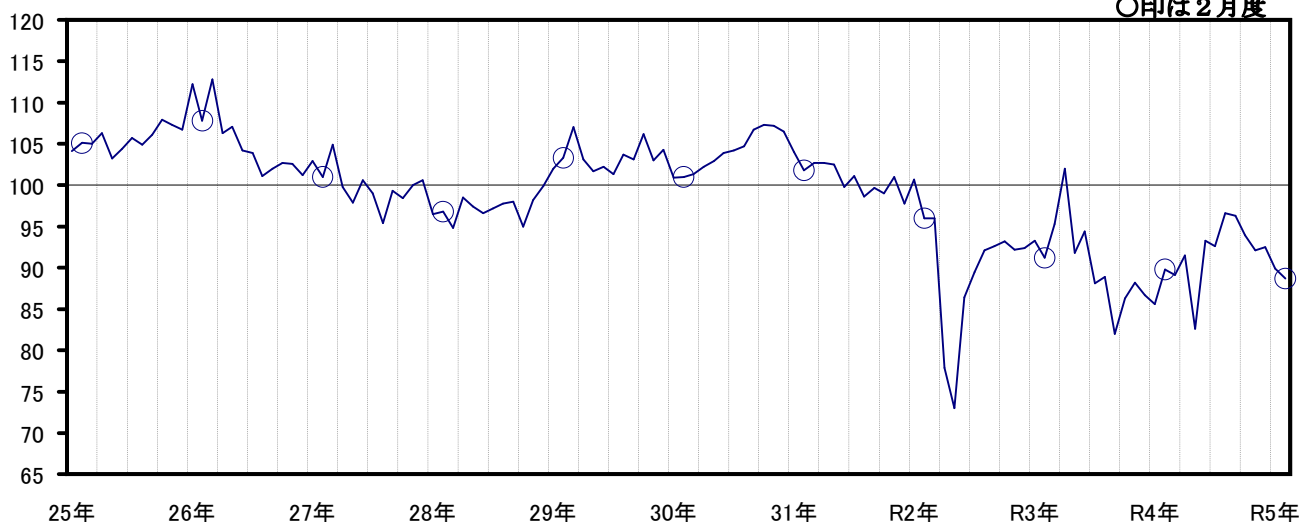
<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は2月度





## (2) 鋳工業在庫指数

**2月 = 102.8**

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 3.0%減

\*前年同月比(原指数) : 1.3%減

### <概況>

2月の鋳工業在庫指数(総合)は102.8(季節調整済指数)で、前月比は3.0%減と、2か月ぶりに減少した。また、前年同月比(原指数)は1.3%減と、12か月ぶりに前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(同5.7%増)が2か月連続、電気機械(同17.3%増)、輸送機械(同2.7%増)がいずれも9か月連続、食料品・たばこ(同27.4%増)が4か月連続で前年水準を上回ったものの、化学(前年同月比25.3%減)が4か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.9%減)が21か月連続で前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
指数	108.6	109.2	109.1	109.8	109.6	104.8	106.0	102.8
前月比(%)	3.7	0.6	▲0.1	0.6	▲0.2	▲4.4	1.1	▲3.0
前年同月比(%)	7.8	7.8	1.6	5.6	5.8	4.0	5.8	▲1.3
(参考)全国前年同月比(%)	5.1	5.9	6.1	▲0.5	0.3	▲0.4	▲1.0	1.3

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲0.5	▲1.7	▲2.3	0.4	2.0	▲2.3	4.7	5.7
電気機械工業	6.6	16.5	23.3	26.3	29.0	29.0	18.0	17.3
輸送機械工業	38.2	53.5	55.4	36.2	31.9	25.1	63.1	2.7
化学工業	▲6.3	3.1	▲13.1	5.3	▲4.5	▲1.9	▲9.7	▲25.3
パルプ・紙・紙加工品工業	▲1.9	▲3.4	▲3.0	▲3.2	▲4.8	▲4.0	▲3.5	▲0.9
食料品・たばこ工業	31.4	2.4	1.1	▲0.1	17.9	10.4	25.0	27.4

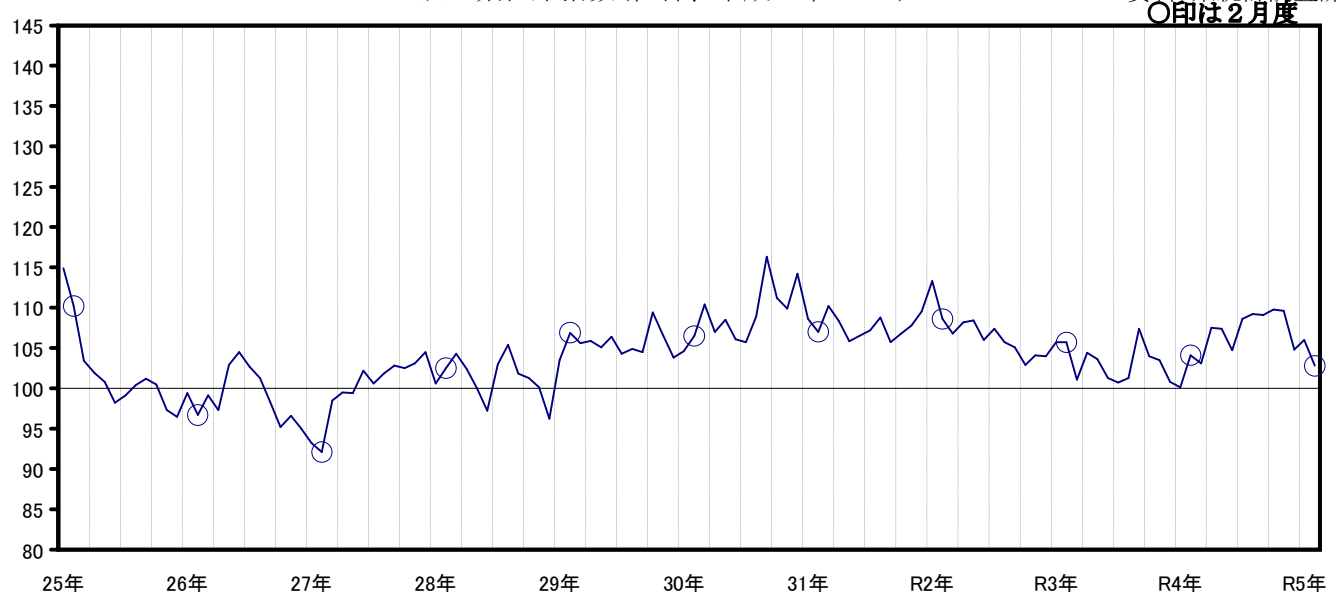
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**2月 = 1.27倍**

\*前月比 (季節調整値) : 0.02ポイント減

(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)

#### <概況>

2月の有効求人倍率(季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む)は1.27倍となり、前月を0.02ポイント下回った。25か月連続で1倍台となった。また、全国値を0.07ポイント下回った。新規求人(学卒、パートタイムを除く)(前年同月比5.3%減)は2か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、情報通信業(同27.2%増)、卸売業・小売業(同7.1%増)がいずれも2か月ぶり、サービス業(他に分類されないもの)(同0.8%増)が7か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同9.6%減)が5か月連続、製造業(同13.7%減)が4か月連続、運輸業・郵便業(同15.3%減)が3か月連続、医療・福祉(前年同月比2.5%減)が2か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

(単位:倍)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
県	1.29	1.30	1.32	1.32	1.34	1.32	1.29	1.27
全 国	1.28	1.31	1.32	1.34	1.35	1.36	1.35	1.34

(注)季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
建設業	3.0	▲0.1	4.7	▲2.1	▲1.9	▲1.0	▲14.0	▲9.6
製造業	7.4	9.6	8.9	4.9	▲0.6	▲4.8	▲5.1	▲13.7
情報通信業	6.5	▲10.5	▲1.3	12.9	10.9	5.8	▲16.7	27.2
運輸業・郵便業	7.1	1.0	4.5	▲1.2	20.5	▲16.7	▲8.2	▲15.3
卸売業・小売業	18.0	24.5	55.2	9.8	17.1	36.1	▲5.4	7.1
医療・福祉	3.2	5.9	8.8	6.2	0.4	▲3.6	1.4	▲2.5
サービス業(他に分類されないもの)	▲7.3	15.4	6.6	15.3	18.0	9.9	5.2	0.8
合 計	5.2	10.6	12.7	6.3	7.1	2.7	▲3.7	▲5.3

(注)学卒、パートタイムを除く

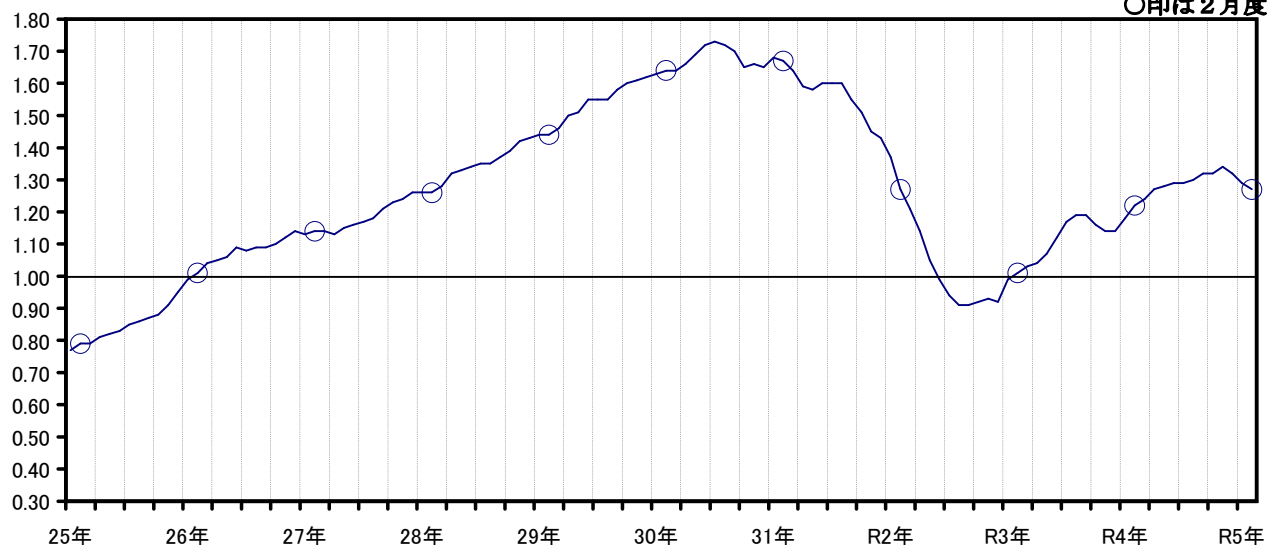
<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率(学卒を除き、パートタイムを含む)(倍)

<資料>厚生労働省

○印は2月度



(2) 雇用保険受給者実人員

2月 = 10,187人

\*前月比: 3.2%減

\*前年同月比: 3.4%減

<概況>

2月の雇用保険受給者実人員は10,187人で、前月比は3.2%減と、6か月連続で前月を下回った。また、前年同月比は3.4%減と21か月連続で前年実績を下回った。  
 完全失業率(全国)は2.6%と前月から0.2ポイント悪化した。  
 静岡県(令和4年10~12月)の完全失業率は2.0%で、前期(令和4年7~9月)から0.3ポイント改善した。

<最近の動き>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
実人員(人)	11,952	12,557	11,986	11,260	10,827	10,554	10,529	10,187
前月比(%)	3.9	5.1	▲4.5	▲6.1	▲3.8	▲2.5	▲0.2	▲3.2
前年同月比(%)	▲9.3	▲4.2	▲5.9	▲8.2	▲5.7	▲5.7	▲4.4	▲3.4
(参考)全国前年同月比(%)	▲9.6	▲4.4	▲5.5	▲4.5	▲5.8	▲5.3	▲2.9	▲1.3

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
完全失業率(全国)(%)	2.6	2.5	2.6	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6

(注)季節調整値

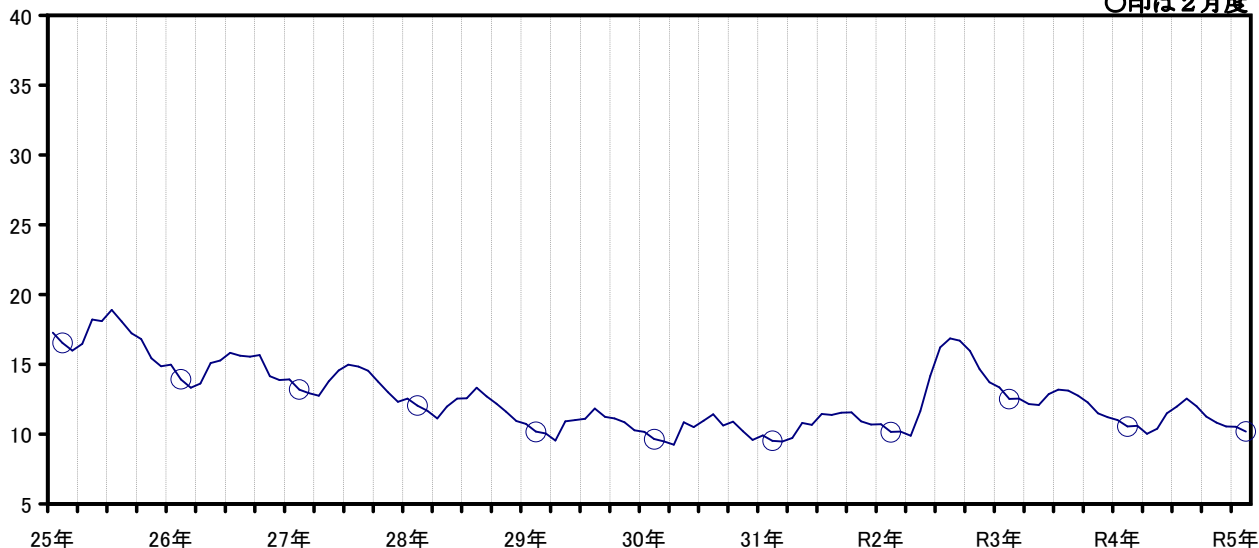
<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省

○印は2月度



### (3) 所定外労働時間指数

1月 = 116.9

\*前月比(季節調整済指数): 0.8%減

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 1.7%増

#### <概況>

1月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は116.9(季節調整済指数)で、2か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は1.7%増と、14か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、製造業(同2.1%増)が14か月連続、医療・福祉(同17.8%増)が13か月連続で前年実績を上回ったものの、建設業(同30.3%減)が2か月ぶり、情報通信業(同1.8%減)が5か月ぶり、運輸業・郵便業(前年同月比7.7%減)が10か月連続、卸売業・小売業(同19.8%減)が19か月ぶり、その他のサービス業(同12.9%減)が10か月ぶりに前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
指数	119.0	117.6	115.1	120.1	119.9	117.1	117.9	116.9
前月比(%)	▲1.6	▲1.2	▲2.1	4.3	▲0.2	▲2.3	0.7	▲0.8
前年同月比(%)	9.9	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8	13.4	1.7
(参考)全国前年同月比(%)	5.9	1.4	3.5	7.8	7.6	4.0	2.2	0.0

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数 <資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
建設業	▲26.4	▲52.4	▲22.9	3.1	▲30.6	▲37.3	5.2	▲30.3
製造業	2.3	0.6	6.0	21.6	21.7	12.3	6.8	2.1
情報通信業	0.7	13.5	▲11.1	4.7	2.1	24.7	14.8	▲1.8
運輸業・郵便業	▲7.5	▲9.9	▲14.1	▲0.5	▲9.6	▲15.7	▲14.0	▲7.7
卸売業・小売業	41.5	1.6	8.1	12.1	19.2	1.6	5.2	▲19.8
医療・福祉	11.2	10.2	21.7	16.5	11.8	27.6	34.4	17.8
その他のサービス業	44.7	35.8	34.6	47.1	60.5	60.8	64.3	▲12.9
調査産業計	9.9	4.8	6.8	21.1	16.8	13.8	13.4	1.7

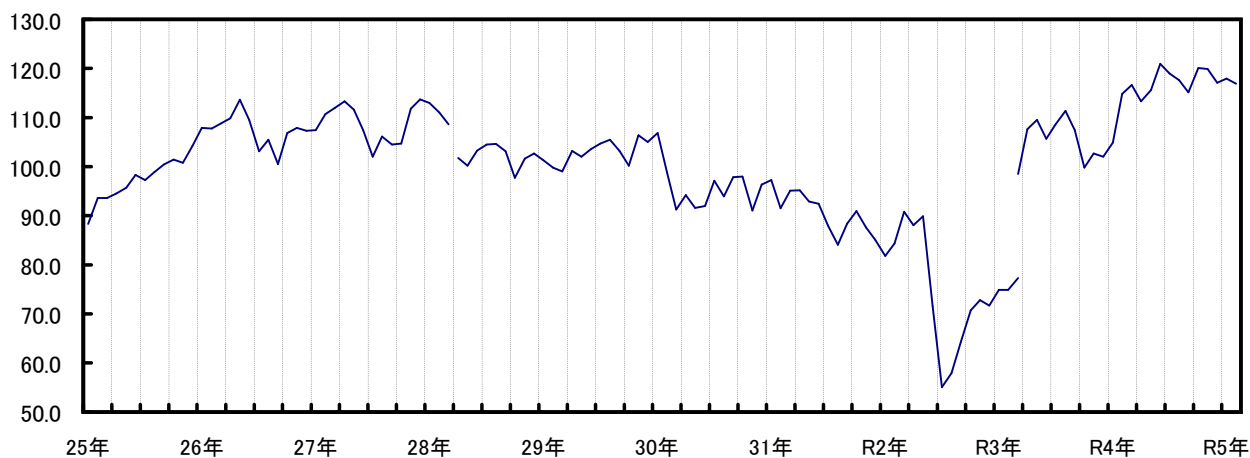
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課





## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

(令和2年=100)

3月 = 119.4

\*前月比: 同水準

\*前年同月比: 7.2%上昇

#### <概況>

3月の国内企業物価指数は119.4となり、前月とは同水準であった。また、前年同月比は7.2%の上昇となった。

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
国内企業物価指数	115.7	116.9	118.1	119.1	119.9	119.8	119.4	119.4
前月比 (%)	0.4	1.0	1.0	0.8	0.7	▲ 0.1	▲ 0.3	0.0
前年同月比 (%)	9.6	10.3	9.7	9.9	10.6	9.5	8.3	7.2

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

2月 = 143,026億円

\*前月比: 同水準

\*前年同月比: 0.4%増

#### <概況>

2月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は143,026億円で、前月比とは同水準であった。また、前年同月比は0.4%の増加となった。

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
貸出残高(億円)	142,647	142,664	143,216	142,823	143,165	143,802	143,040	143,026
前月比 (%)	0.2	0.0	0.4	▲ 0.3	0.2	0.4	▲ 0.5	▲ 0.0
前年同月比 (%)	▲ 0.6	▲ 0.3	0.0	0.2	0.4	0.2	0.3	0.4

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

2月 = 1.296%

\*前月差: 0.002ポイント減

\*前年同月差: 0.068ポイント減

#### <概況>

2月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.296%で、前月から0.002ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.068ポイントのマイナスとなった。

	R5年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
貸出約定金利 (%)	1.329	1.322	1.319	1.316	1.308	1.303	1.298	1.296
前月差(ポイント)	▲ 0.005	▲ 0.007	▲ 0.003	▲ 0.003	▲ 0.008	▲ 0.005	▲ 0.005	▲ 0.002
前年同月差(ポイント)	▲ 0.077	▲ 0.081	▲ 0.077	▲ 0.078	▲ 0.076	▲ 0.070	▲ 0.072	▲ 0.068

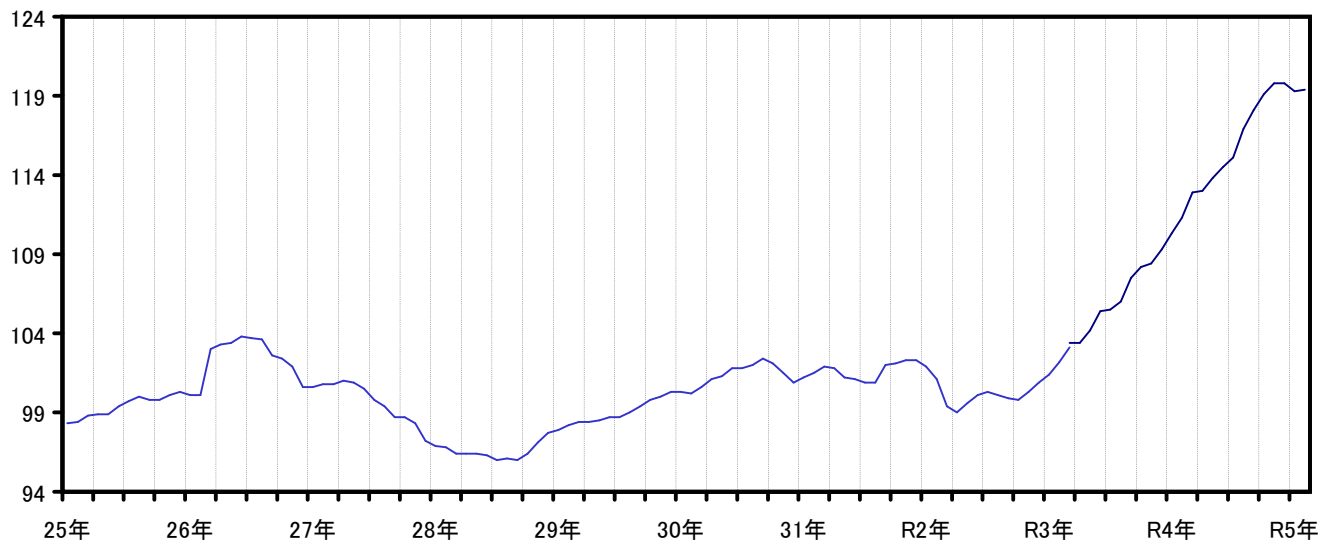
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

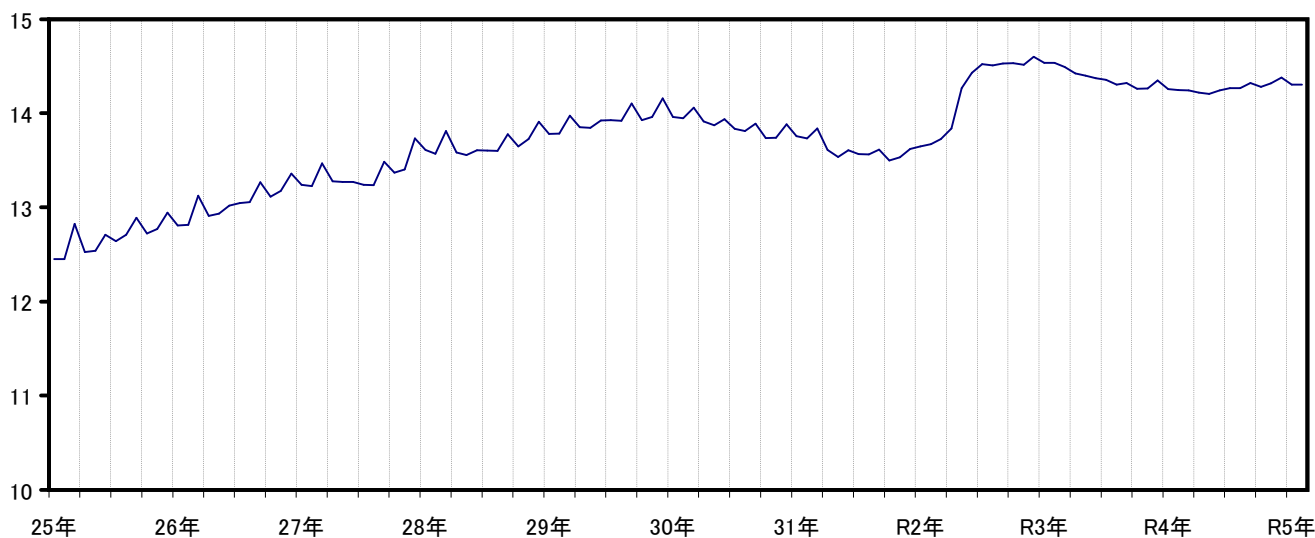
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



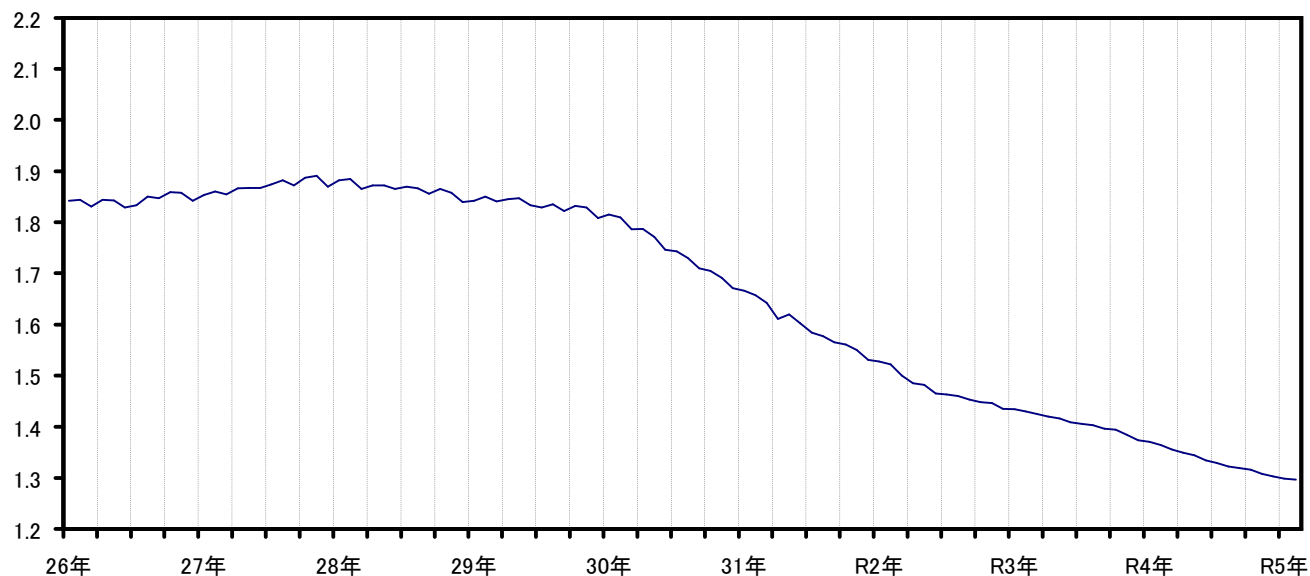
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



**(3) 信用保証協会保証金額****2月 = 21,917百万円**

\*前年同月比： 27.7%増

## &lt;概況&gt;

2月の保証承諾は、金額は21,917百万円（前年同月比 27.7%増）、件数は1,682件（同 4.4%増）と、いずれも前年実績を上回った。

	R4年7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
保証金額(百万円)	23,461	25,425	26,742	17,816	23,928	32,259	17,702	21,917
前年同月比(%)	65.5	62.9	62.2	20.1	30.7	32.2	34.5	27.7
保証件数(件)	1,740	1,959	2,142	1,510	1,831	2,328	1,393	1,682
前年同月比(%)	23.8	19.7	19.3	▲0.4	9.2	3.9	8.9	4.4

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****3月 = 133.85円/ドル**

\*前月差： 1.17円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差： 15.34円安

## &lt;概況&gt;

3月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は133.85円で、前月と比べて1.17円の円安となり、2ヶ月連続で円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
平均相場(円)	135.24	143.14	147.01	142.44	134.93	130.20	132.68	133.85
前月差(円)	▲1.39	7.90	3.87	▲4.57	▲7.51	▲4.73	2.48	1.17
前年同月差(円)	25.40	32.97	33.91	28.31	21.06	15.37	17.48	15.34

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****3月 = 30件**

\*前年同月比： 87.5%増

## &lt;概況&gt;

3月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産は、件数は30件（前年同月比 87.5%増）、負債総額は3,669百万円（同 143.4%増）と、いずれも前年実績を上回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が22件と全体の73.3%を占め、8か月連続で50%以上となっている。

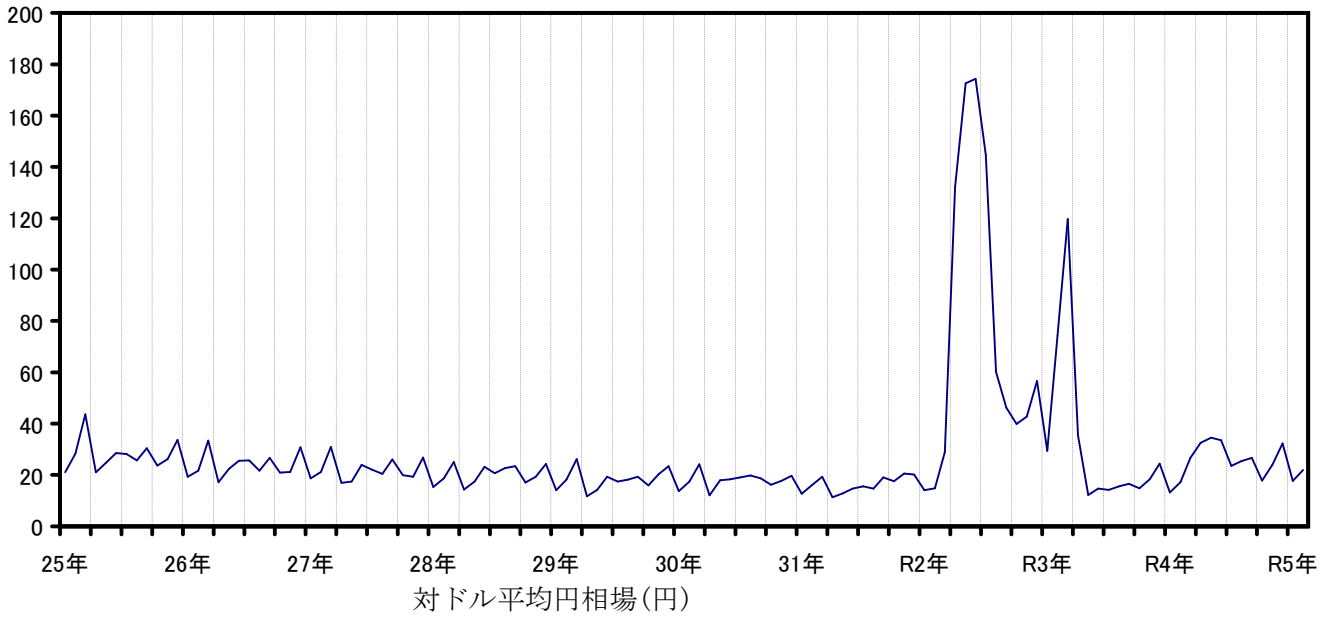
	R4年8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月	3月
倒産件数(件)	9	16	22	14	18	19	19	30
前年同月比(%)	12.5	6.6	10.0	▲26.3	38.4	137.5	171.4	87.5
うち不況型倒産件数(件)	7	14	19	11	17	14	19	22
負債総額(百万円)	2,080	1,240	2,613	14,158	2,810	2,015	1,355	3,669
前年同月比(%)	149.1	19.5	▲88.4	1,088.7	119.8	12.0	81.6	143.4

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

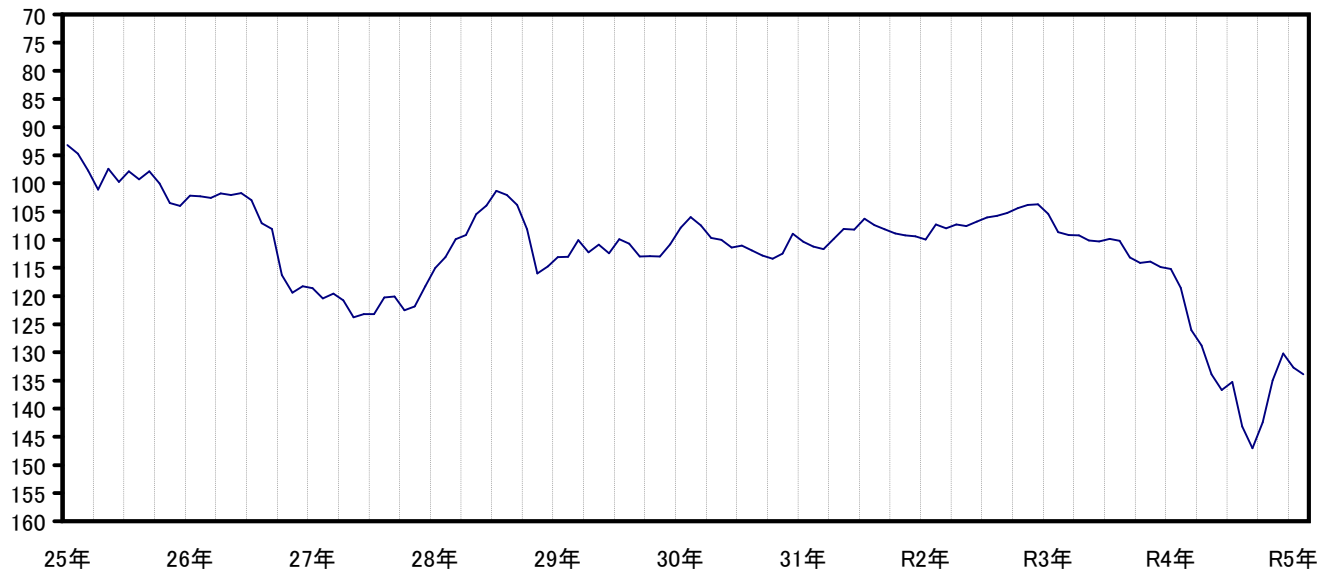
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会

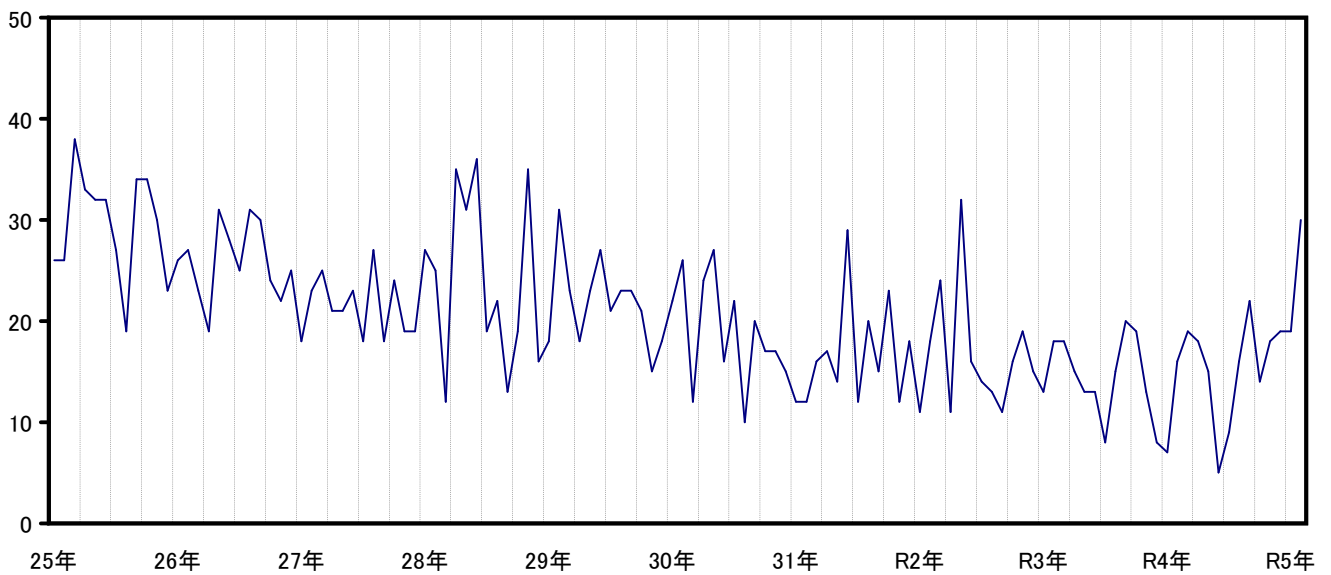


対ドル平均円相場(円)



企業倒産件数(件)

<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



### Ⅲ 令和5年2月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>1月の国内二輪車生産台数は、51,901台（前年同月比20.8%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、9,401台（同4.2%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、3,595台（同23.7%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,901台（同19.1%増）で2か月ぶりに前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、35,004台（同26.0%増）で、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、27,448台（同5.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、41,218台（同19.0%増）で、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>1月の自動車国内生産台数は、620,474台（前年同月比 13.4%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。輸出は256,178台（同 4.9%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が3か月ぶり、トラックが6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>2月の冷蔵庫の国内出荷額は357億円（前年同月比3.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回り、国内出荷台数は274千台（同 8.6%減）で、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>2月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは600千台（同 2.7%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。業務用は59千台（同 4.6%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>2月の携帯電話の国内出荷台数は、837千台（同 4.8%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、582千台（同 15.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。単月のスマートフォン比率は69.6%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用機械	<p>2月の工作機械の受注総額は、1,240億9,500万円（前年同月比 10.7%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>内訳をみると、外需は851億6,300万円（同 5.5%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。アジア向けが398億2,600万円（同 5.8%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内需は389億3,200万円（同 20.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「売上は多少戻りつつあるが、電気料金のほか諸資材の高騰が収益を圧迫しており、当面厳しい状況が続く。」 「親会社は上期については厳しい状況が続くが、下期は自動化、脱炭素、生産拠点の再編等で堅調な受注に結び付くとみている。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>2月の県内楽器メーカーの販売金額は、50億6,179万円（前年同月比0.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが33億4,691万円（同6.6%増）で、国内向けが15億7,890万円（同18.7%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,472台（同7.1%増）であった。機種別では、アップライトピアノが2,315台（同3.3%増）、グランドピアノが1,157台（同15.6%増）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,367台（同11.5%減）、国内向けが1,117台（同14.0%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>2月の紙・板紙の国内出荷高は、1,655千ト（前年同月比4.7%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。内訳は、紙は813千ト（同7.9%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。板紙は841千ト（同1.4%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、449千ト（同6.0%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、133千ト（同14.2%減）と、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>2月の県内生産量は、食缶類が国内向け910千箱（前年同月比2.7%減）と4か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は605千箱（同8.3%減）と5か月ぶりに前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は411千箱（同0.8%減）と、5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は305千箱（同10.6%増）と4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが6,130千箱（同0.6%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>2月の広幅織物の県内生産は、691千㎡（前年同月比4.8%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、643千㎡（同2.7%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、48千㎡（同45.2%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、16千㎡（同0.8%増）で、10か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>2月の全国百貨店での家具販売額は、34億2,496万円（前年同月比3.1%増）と2か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、458億2,136万円（同0.2%減）と5か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

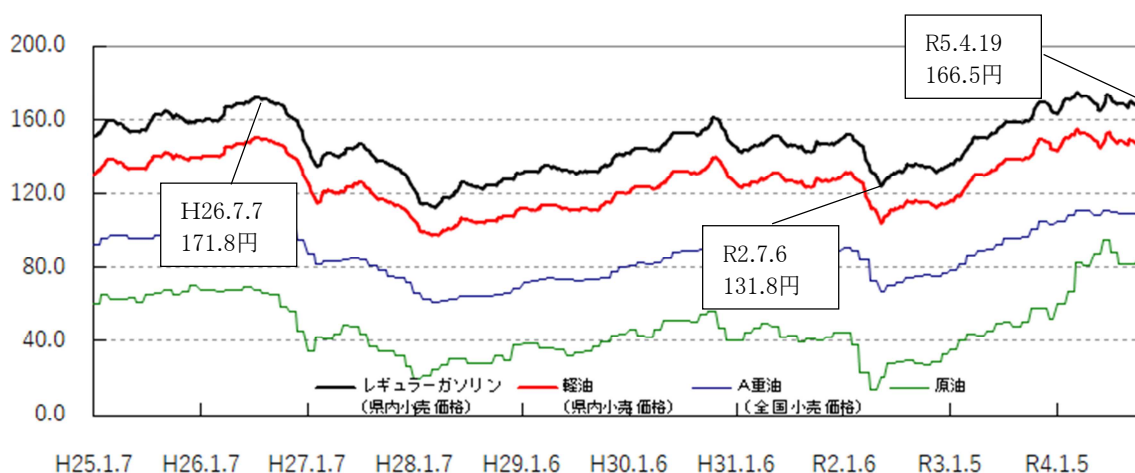


業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>2月の県内百貨店・スーパーの販売額は、33,556百万円（既存店前年同月比0.1%増）と前年実績を上回った。品目別に見ると、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回ったものの、衣料品、身の回り品が前年実績を上回った。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、気温が低下したことにより、季節ものの衣料品の売上げが好調だった。また、バレンタイン向けの催事も盛況だった。</p> <p>中部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、映画館等サービス施設の売上げが好調であり、来客数の増加に大きく貢献した。</p> <p>伊豆の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、青果や鮮魚の売上げが不調だった。また、物価高騰の影響により、販売価格が上昇したため、買い控えが見られた。</p> <p>〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和5年2月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約32万人で、前年同月比63.1%増となった。</p> <p>本年の2月は、全国旅行支援の期間であったことや、昨年2月は、新型コロナウイルス感染拡大に伴うまん延防止等重点措置が適用されていたことが要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線）の合計通行車両数は、約56万台となり、前年同月比19.8%増となった。</p> <p>〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー166.5円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



## IV データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
完成車生産台数(台)	26,716	27,659	26,711	29,757	28,727	30,059	26,935	24,502	26,832
前年同月比(%)	16.9	22.4	28.2	72.3	71.7	10.9	4.4	16.4	▲0.8
KD輸出額(百万円)	890	988	906	1,207	1,632	1,633	1,573	1,491	1,576
前年同月比(%)	▲16.6	▲15.3	▲2.2	▲18.2	51.8	14.4	4.6	4.0	▲2.8

### <楽器>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
生産総額(百万円)	3,177	3,207	2,582	3,256	3,304	3,276	3,236	2,827	3,294
前年同月比(%)	▲4.6	4.6	0.7	8.4	9.4	7.2	9.2	1.4	12.7

### <缶詰>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
食缶生産高(千ケース)	1,089	1,010	981	960	1,029	1,022	1,010	914	910
前年同月比(%)	▲2.5	▲1.6	0.6	▲9.9	▲1.4	1.7	14.8	3.5	▲2.7
うち水産缶詰(%)	▲2.6	▲0.8	1.7	▲7.1	4.3	1.9	15.9	4.9	▲8.3
農畜産缶詰(%)	▲2.3	▲3.6	▲2.1	▲15.8	▲13.8	1.3	12.1	0.7	10.6
飲料缶生産高(千ケース)	7,918	7,926	7,545	6,447	7,099	6,413	6,473	5,066	6,130
前年同月比(%)	5.9	3.0	▲2.0	15.0	22.3	3.5	17.5	7.3	0.6

### <繊維>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
広幅織物(千㎡)	739	736	680	785	780	903	746	747	691
前年同月比(%)	8.2	10.8	17.5	21.2	13.8	11.0	▲2.5	0.0	4.8
小幅織物(千㎡)	17	15	14	15	16	17	20	15	16
前年同月比(%)	6.9	7.4	5.9	21.1	11.6	29.3	37.1	3.1	0.8

### <観光>

	R4年6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月	2月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,202	1,693	2,387	1,522	1,484	1,703	1,723	1,417	1,299
前年同月比(%)	30.8	23.3	44.4	61.7	19.3	9.1	0.9	9.1	72.7
観光施設(10施設)入込 (千人)	248	273	461	319	427	389	298	352	321
前年同月比(%)	14.5	8.9	72.4	258.7	9.7	▲5.7	▲3.8	29.2	63.1
有料道路(4路線)通行量 (千台)	544	609	706	561	613	608	620	548	557
前年同月比(%)	9.8	▲0.4	15.6	12.4	7.5	0.1	0.4	5.6	19.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		

# 静岡県月例経済報告

令和5年4月号 通巻564号

発行 静岡県経済産業部  
令和5年4月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/introduction/soshiki/1002123/index.html>